

通算才 23号

1964~65-11-11

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生明館

例会日 毎週水曜日

12.30-13.30

第21回例会

※ 富田特別代表挨拶

10月19日付で函館北R.C.の加盟が承認され、誠におめでとうです。滝本ガバナー当時にチャーターの期待をしていたのですが、一部規約の変更があつた等のため遅くなつたのは遺憾でした。待望久しい独立クラブとなつたのであるから、このクラブが発展する方法及び拡張策を研究し、その実現に努力されたい。チャーター・ナイトまでには会員が増えると思ひますが、そのためには各人が適当な方々を推薦しなければなりません。又承認されると出席報告をしなければなりません。親睦を計るには出席が最も大切であり、出席のもつ意義をよく理解されて出席率の向上について研究し、出席率の良いクラブとなつていただきたい。承認後は他の仕事も増えます。チャーター・ナイトもしなければなりません。全会員の研究によつて立派な組織作りをしていただきたい。特に会員の選考は難しいので、充分な考慮が必要です。加盟の遅延をお詫びし、承認の得られたことを心からお祝い致します。

※ 会長謝辞

テレトリーや職業分類上の問題で承認が難渋しました。予定が延びただけに、富田特別代表の御苦労はそれだけ大きかつたと存じます。当クラブのチャーターに払われた特別の御尽力に対し、あらためて心から御礼申し上げます。

※ ニコニコ箱

1. 酒井会員の長女淑恵さんが11月1日華燭の典をあげられました。お祝い申し上げます。
2. 今月は誠に良い月であります。大いにニコニコ箱を御利用下さい。

※ 出席率(前回分)

会員数 30名 当日出席 23名 他夕出席 3名
計 26名 (86.67%)

※ 次回の卓話予定者

神原金一君 大田秀雄君 成田勇司君

次回例会日 11月18日

※ 司会 遠藤 副会長 ※ 斉唱 "奉仕の理想"

※ ゲスト 市川芳夫君 (青柳会員)

※ ビジター 丸山一男君 他8名 (函館R.C.)

戸田国雄君 他10名 (函館東R.C.)

※ 副会長挨拶

会長さんは東瀬棚農協の落成式に出席して不在のため、本日は代つて司会致します。又会長報告は次回になります。

※ 幹事報告

新会員候補者名簿を配布しました。異議ある方は22日迄に申し出て下さい。

※ ニコニコ箱

1. ベンケイ綿 (飯田貢一会員) の経理課長代理川村和さんが、中小企業庁長官から優良従業員として表彰されました。おめでとうございます。
2. 神原会員の長男隆一さんが11月8日結婚されました。お祝い申し上げます。

※ 映画 1.レンジャセブン号の月世界撮影記録 (7分)

レンジャセブン号にのせた6台のカメラがとらえた月面衝突までの月表面の模様を、カリフォルニアで受信したものである。月までの距離約1900キロから撮影開始。月面に接近するに従ひ、今迄人間が見る事が出来なかつた小噴火口や、火口の岩石まで見えて来る。正に快挙である。そして衝突。時1964年7月31日。

2. 太陽を追つて (30分)

太陽を追つて東から西へ、一新聞社のジャーナリストがアメリカ合衆国を横断旅行した記録である。彼の課題はアメリカを出来るだけ知ることであつた。西面はニューヨークの摩天楼から始まり、重工業、インディアナ州の放線状操車場、外国貿易の盛んなシカゴ、ネブラスカ州の機械化された大農業地帯、自然のまゝに残された西部の大断崖や大谿谷、巨大なフーバーダム、ダムで潤り



通算才24号

1964~65-11-18

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12,30~13,30

第22回例会

本日のプログラム

“経営診断”(スライド使用) 大田秀雄君

- ◆ 司 会 新 会 長 ◆ 斉 唱 “我等の生業”
- ◆ ゲスト 杉崎 郡作氏 市川 芳夫君
- ◆ ビジター 相馬 哲平君 永野 弥平君 渡会 末吉君 長谷川 権九郎君
中村 清右衛門君 横田 豊雄君 井ヶ田 重造君 川端 久雄君
河村 定勝君 久下 秋司君 氏家 義也君 酒谷 鉦五郎君
藤田 清七君 小寺 寛一君 (以上函館R.C.)
太泰 康光君 富田 恭君 石畑 常四郎君 安藤 定三君
小山 欽司君 山内 亮一君 小南 武一君 三上 純次君
出村 喜作君 近江 政太郎君 島田 敬君 山口 敬三君
山本 他喜男君 国田 芳郎君 戸田 国雄君 (以上函館東R.C.)

◆ 会長報告

1. 去る15日登別グランドホテルで開催の才350地区才1・才2分区のインターシティ・ゼネラル・フォーラムに、私、遠藤副会長、飯田職業奉仕委員長、北村社会奉仕委員長の4名が出席しました。約150名集まり盛会でした。寿原ガバナーは鉦路に公式訪問中であつたので、函館クラブの伊部バスター・ガバナーがフォーラム・リーダーとなり、約5時間に亘り活潑な討議と勉強が行われました。又次年度のフォーラムは函館と決まり、而も発足間もない我が北クラブがホスト・クラブの重大使命を与えられました。
2. R.I. 会長より書面が来ております。“ロータリーに生きよう”のメッセージの日本訳等です。

◆ ニコニコ箱

1. お誕生日おめでとございます。
北村 実雄君 飯田 貢一君 深瀬 鴻一郎君

南カルフォルニア、更に多彩な街ロスアンゼルス、観光の街サンフランシスコ、そして最後に夢を持つた街シアトルで終る。我々はこの映画からアメリカのフロンティア・スピリットと、アメリカ国民の大いなる力を教えられたのである。

◆ スピーチ “ 麵の話 ” 神原 金一君

麵の起源は西紀前数千年、アジアで始められた。中国では古来種々の形状調理法の変遷を経て現在の麵になり、一方欧州へ伝わつたのはマカロニとして発達した。我国には奈良時代に唐から伝来した手法により手延素麵となり、うどんは唐菓子の一種として、当初麦粉のダンゴにアンを入れたのをコントンと呼び、次々に形も名称も転じ現在の細い線状になり、うどんの名に包括された。この様に古い歴史をもち、夫々の形式で発達して来た麵の種類を製法上から分類してみると (1)圧力をかけて圧出す形式 (2)引き延ばす形式 (3)麵帯から切り出す形式、の三種に分けられる。

我国麵類の代表であるうどん、冷麦、ソバ、ラーメンは切出麵であるが、明治初期迄は総て手打ちであり、明治16年佐賀の真崎氏により製麵機が発明されて以来、麵は益々高級食品として賞用され、特に終戦からの食糧難には急速に発達した。然し反面、代用食という感じを与え、其の後あらゆる点が洋風化するに及び、日本古来の麵も斜陽視されたが、未だに小麦粉消費量の約38%の王座を占めて居り、近年機械のオートメ化により、生麵、乾麵から味付麵、蒸麵、油揚麵と進み、特に新時代の慾求に応じて、昨年来即席麵の大ブームを捲き起すに至つたことは、麵類がその加工度が多種であり、消化が良く、食品価値の高いことを証していると思ふ。

(才18回例会のスピーチで未完でしたが、今回掲載させていただきます。)

◆ 出席率 (前回分)

会員数30名 当日出席15名 他欠出席3名 計18名 (60%)

◆ 次回のプログラム

1. ゲストスピーカー 合同容器社長 (社会事業家) 杉崎郡作氏
2. 映 画 “ 挑 戦 ” (日紡貝塚女子バレーボールチームの記録)

次回例会日 11月25日